

第4期(2025年度) 事業報告

期間:2025年4月1日~2026年3月31日



2026年8月

■第4期 事業報告

1.小売電気事業

当期から、市の塩原庁舎、給食共同調理場3施設や、青木サッカー場などの指定管理施設を含めた16箇所の公共施設へ新たに電力供給を開始しました。電源は、先期に引き続き、地域内の那須塩原クリーンセンターの余剰電力と、那須野ヶ原用水の折戸発電所のFIT電力を調達しており、当社の事業目的の一つである「エネルギーの地産地消」を実現しています。

また、那須塩原クリーンセンターのバイオマス発電電力と非化石証書を活用して、実質的にCO₂排出量ゼロを実現する「CO₂フリー電力メニュー」の提供を開始しました。

《地域の電源》

那須塩原クリーンセンター



出典)那須塩原市Webサイトより
<https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/soshikikarasagasu/ce/gomishorishisetsu/2133.html>

那須野ヶ原用水 折戸発電所



写真提供)那須野ヶ原土地改良区連合
<https://nasunogahara-mirai.de-power.co.jp/docs/202311-2.press.pdf>

《電力供給》

- 契約電力 9,071kW(2026年3月時点)
- 販売量 10,729,031kWh(2025年度)
- 電力供給施設数 (2026年3月時点)
 - ・市公共施設 67施設(指定管理12施設含む)
 - ・民間事業者4施設
 - ・住宅6件

《環境省「温室効果ガス排出係数」》

令和8年度提出用(R6年度実績)

基礎排出係数および調整後排出係数:

0.000222t-CO₂/kWh

※別途 CO₂フリー(Aメニュー)も提供

https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/r08_denki_coefficient_rev4.pdf

第4期（2025年度）事業報告

2. エネルギーマネジメント事業(レジリエンス事業)

市の指定避難所3施設(南公民館、いきいきふれあいセンター、にしなすの運動公園)に導入した太陽光発電設備・蓄電池・LED照明を活用し、当期は、144,418kWhの再エネ電力を供給しました。

項目	内容
再生可能エネルギー供給量(3施設合計)	144,418kWh/年
LED照明導入による削減電力量	427,034kWh/年
CO2排出削減量	332.73 t-CO2/年

3. 地域貢献事業(環境教育)

那須野ヶ原地区の持続可能な地域づくりに向けた地域貢献事業として、市内の中学校(日新中学校・三島中学校・高林中学校)に、環境学習出前授業を行いました。

開催日	開催場所	参加者(人数)
令和7年10月17日	日新中学校	2年生 86名
令和7年12月11日	三島中学校	1年生 200名
令和7年12月12日	高林中学校	3年生 30名

4. 脱炭素先行地域事業

当期は、青木地区の住宅4件と民間事業者1件にPPA方式、住宅2件には自己所有方式で導入した太陽光発電・蓄電池設備を活用し、再エネの供給を開始しました。また、青木サッカー場の太陽光発電設備の導入については、パネル設置予定地の地盤調査を行い、次期(5期)の設備導入に向けた準備を行いました。

なお、民間事業者へのPPA方式による再エネ供給は、先期(令和7年3月27日)に締結した株式会社クリーンエナジー・ソリューションズ(以下「CES」)との「PPAサービスに関する連携協定基本合意書」により提供を受けた設備を活用しています。

◆【PPAサービスに関する連携協定基本合意書】

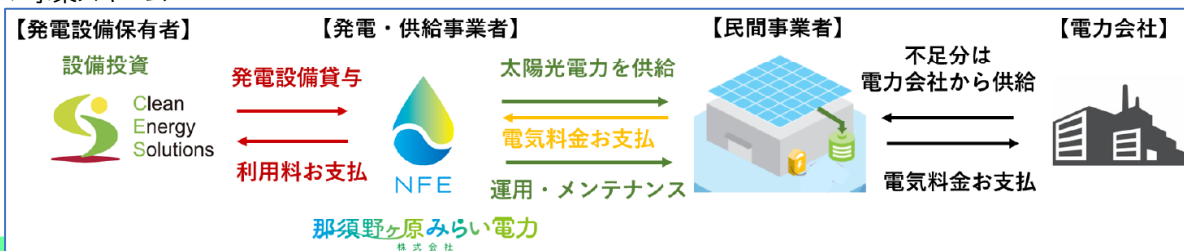
▶契約先: 株式会社クリーンエナジー・ソリューションズ

▶締結日: 令和7年3月27日

▶協定内容:

- ・PPA事業に関する発電設備のCESからのリース提供
- ・PPA事業を提供する建物に関する知見の提供
- ・PPA事業の設置工事に関する管理等の支援
- ・その他PPA事業における必要な支援

▶事業スキーム:



5.取り組み紹介

◆ネイチャーポジティブ那須野が原アライアンスの参加

ネイチャーポジティブ那須野が原アライアンス(NPNA)は、「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」に掲げた持続可能な環境都市の実現に向け、企業、団体、個人などが相互に連携を図ることを促進する枠組です。

- ・開催日時(場所):
2025年11月17日
(大正堂くろいそみるひいホール)



◆なすしおばらサステナブル展での講演

環境をテーマに地域の内外で活躍する団体・企業が展示や講演を行うイベント「なすしおばらサステナブル展」にて、講演を行いました。

- ・開催日時(場所):
2025年12月14日
(三島ホール)
- ・講演テーマ:
「地域の資源・エネルギー循環によるサステナブルな地域づくりへの挑戦」



■第4期 決算報告

貸借対照表(2026年3月31日現在)

科 目		金 額(千円)
資産の部	流動資産	222,108
	固定資産	178,603
	合計	400,711
負債及び純資産の部	流動負債	89,713
	固定負債	177,306
	株主資本	133,692
	資本金	15,000
	利益剰余金	118,692
	合計	400,711

損益計算書(2025年4月1日～2026年3月31日)

科 目	金 額(千円)
売上高	367,884
売上総利益	80,403
販売費及び一般管理費	6,293
営業利益	74,109
経常利益	70,249
当期純利益	49,778

※千円以下を端数処理して記載しています

■第5期 取り組み内容

1. 小売電気事業(販売計画・調達計画)

2026年4月から道の駅「明治の森・黒磯」、2026年5月から那須野ヶ原博物館、一般廃棄物最終処分場に供給を開始しています。民間事業者には、電力の使用状況を見極めながら個別に見積提案を行い、家庭(低圧需要家)は、脱炭素先行地域事業で設備導入を行う需要家に対し、小売電力販売もセットで提案します。

2. レジリエンス事業

4期に引き続き、那須塩原市の指定避難所3施設に導入した太陽光発電設備・蓄電池・LED照明を活用し、再生可能エネルギーの供給と災害時における電力利用を可能とするレジリエンス機能のサービス提供を行います。

3. 地域貢献事業

那須塩原市の中学校を対象に開催する「環境教育授業」は、昨年同様3回程度実施します。また、前期に購入したエアコン付きエアーテントの貸出事業を行います。当社が協賛参画するイベントのほか、地域交流イベントなどに活用いただく機会を提供していきます。

4. 脱炭素先行地域事業

「脱炭素先行地域」の一つとして選定された那須塩原市の共同提案者として、「青木地区ゼロカーボン街区」の構築実現に取り組みます。

- PPA事業(住宅・民間事業者・酪農家に向けた太陽光発電・蓄電池設備導入による再エネ供給)
- 太陽光発電設備の導入(青木サッカー場への350kWの太陽光発電設備の設備導入)

■その他サービスの紹介

【地域貢献事業】エアコン付きエアートント貸出事業

地球温暖化による気候変動が異常気象や気温上昇をもたらしており、屋外イベントの暑熱対策やレジリエンスの強化が課題となっていることから、エアコン付きエアートントの貸出事業を開始します。地域貢献事業の一環として、地域のイベント等での活用に貸し出しする予定です。



【小売電気事業・脱炭素先行地域事業】CO₂フリー電力メニューの提供

CO₂フリー電力とは、非化石証書の環境価値を付加することにより、実質的に二酸化炭素排出量をゼロ(CO₂ゼロエミッション)にする電気のことです。第4期は、第一号事業者として、株式会社那須環境技術センターに、「CO₂フリー電力メニュー」を提供しました。

今後も、脱炭素先行地域事業の推進等を含めて、お客さまのご要望を受け、CO₂フリー電力メニューの提供を行い、企業の脱炭素経営や環境負荷低減を強力にサポートしていきます。